

# システム開発文書品質研究会

## Association of System Documentation Quality

ASDoQ 「アスドック」

<http://asdoq.jp/>

2020 年 3 月 6 日 (金曜日)

栗田 太郎 (ASDoQ 幹事 / ソニー)

[taro.kurita@sony.com](mailto:taro.kurita@sony.com)

### 研究会の目的

- ・システム開発, ソフトウェア開発における文書 (要求仕様書・設計書・取扱説明書等) の内容の検討, 記述, 「レビュー」, 参照, 活用, 品質等に関する研究
- ・開発現場における文書にまつわる課題に関する情報交換・意見交換・ネットワーキング
- ・システム開発に限らず, 自然言語の読み書きと文書の管理に関する, 基本的な事項の学習と啓発

### ワーキンググループ (WG)

- ・文書品質モデル活用 WG
- ・文書品質測定 WG
- ・人材育成 WG

### 主な活動

- ・年 2~3 回の研究集会 (名古屋か東京で開催することが多い) や, 毎年恒例の夏合宿 (以前は長野, 最近は京都で開催することが多い) の開催. 主に会員が集まる
- ・「ASDoQ 大会」の開催. 会員・非会員問わず参加を募る (今年は 11 月 6 日 (金曜日) に名古屋大学にある野依記念学术交流館で開催する)
- ・他団体と協働する. 他団体のシンポジウム等に参加し, 交流する

## システム／ソフトウェア開発文書の特徴

- ・多種多様な開発対象がある
- ・多種多様な組織，仕事の仕方（プロセス），文書の種類がある
- ・日本語・英語・図記法・表組・形式仕様記述言語等を組み合わせて文書を記述する．図表も含めて様々な固有の文法を持つ「言語」がある

## ソフトウェアの作り方のかたち

- ・伝統的なソフトウェア（の作り方のかたちの一つ）：

仕様に基づいて作るプログラム	→	コンパイル	→	マシン語プログラム	→	テストによる検証	。	入力	→	マシン語プログラムの実行	→	出力
----------------	---	-------	---	-----------	---	----------	---	----	---	--------------	---	----

（演繹的）
- ・現代的なソフトウェア（の作り方のかたちの一つ）：開発と運用と改善（仕様変更）が統合される．文書よりもプログラムによるコミュニケーションを基本として，素早く開発する（アジャイル開発）
- ・AI（人工知能）はソフトウェアか？：

学習用データの準備	→	学習	→	学習済みモデル	→	テスト用データによる検証	。	入力データ	→	学習済みモデルを用いた判断・予測	→	結果
-----------	---	----	---	---------	---	--------------	---	-------	---	------------------	---	----

（帰納的）

## 開発現場の課題

- ・私の日本語・英語の読み書き聞き（聴き）話す能力は絶望的に低い
- ・「取説」がないプロダクト・ソフトウェア・「アプリ」・サービスの素早いリリースと，ステークホルダーとの会話・対話・議論に基づく不断のアップデート
- ・AI の仕様策定とその動作の説明責任

## 皆さまへのお願い

- ・ASDoQ 大会（11/6（金曜日）@名古屋大学）へのご参加，ポスター発表
- ・ASDoQ とのコラボレーションのご提案
- ・ASDoQ へのご入会 → <http://asdoq.jp/>

以上